



2020熱気球ホンダグランプリ第3戦

一関・平泉バルーンフェスティバル2020

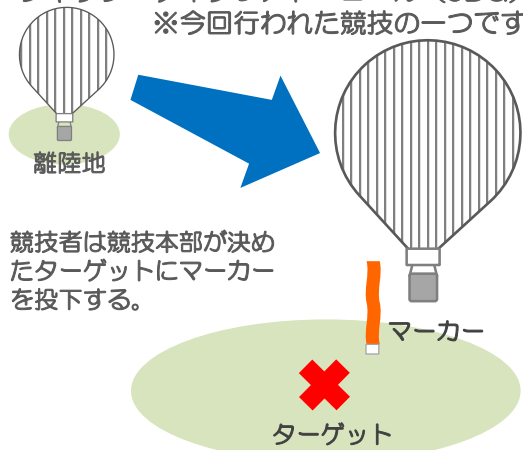
一関水辺プラザをメイン会場に10月16日～18日の3日間『一関・平泉バルーンフェスティバル2020』が開催されました。国内最高峰の熱気球競技大会である熱気球ホンダグランプリが今年最初のレースとして行われ、オフィシャル機2機を含めて全26機が秋空へ飛び立ちました。



17日の夜には一関市内を流れる磐井川の緑地公園でバルーンイリュージョンが行われました。夜の間に色とりどりの熱気球がバーナーの炎と音楽の競演により光り輝くとともに、花火も打ち上げられ幻想的な夜になりました。

今回のバルーンフェスティバルは、新型コロナウイルスの影響により同時イベントのステージイベントや飲食コーナーなどは見送られました。

ジャッジ・ディクレアド・ゴール (JDG)
※今回行われた競技の一つです。



競技者は競技本部が決めたターゲットにマーカーを投下する。

●競う内容
投下したマーカーとターゲット中心からの距離 (短い人が勝ち)

熱気球競技のルールをっていますか？

ターゲットを目標としてマーカーを落とし、ターゲットの中心とマーカーの距離の短さでポイントを競います。
※タスクの内容によっては時間やマーカー同士の距離で競うものもあります。

【 CHECK POINT 】

1. 熱気球競技では、競技種目のことを「タスク」と言い、そのときの天候と風向きで決定されます。
2. 1回のフライトで1～5種類くらいのタスクが設定され、パイロットはタスクによって「目標地への近さ」「飛行距離の長さ」など、操縦の正確さを競います。
3. 熱気球競技は風が穏やかな早朝と夕方に実施し、上昇気流が発生する昼はあまり飛行しません。
4. 大会は通常2～5日間程、各タスクで得た得点の総計で順位を競います。

編集後記

熱気球を初めて間近で見たとき、サイズもバーナーの音もとても大きくて、その存在に圧倒されたのと同時にわくわくしたのを覚えています！今年も楽しませていただきました◎!! (や)